

平成30年6月期決算説明

株式会社 オーネックス

平成30年8月29日

Index

- 平成30年6月期業績
- 平成31年6月期予想
- 今後の展望
 - ・熱処理事業を取り巻く環境
 - ・オーネックスグループの戦略
- (株)オーネックステックセンター

平成30年6月期の業績

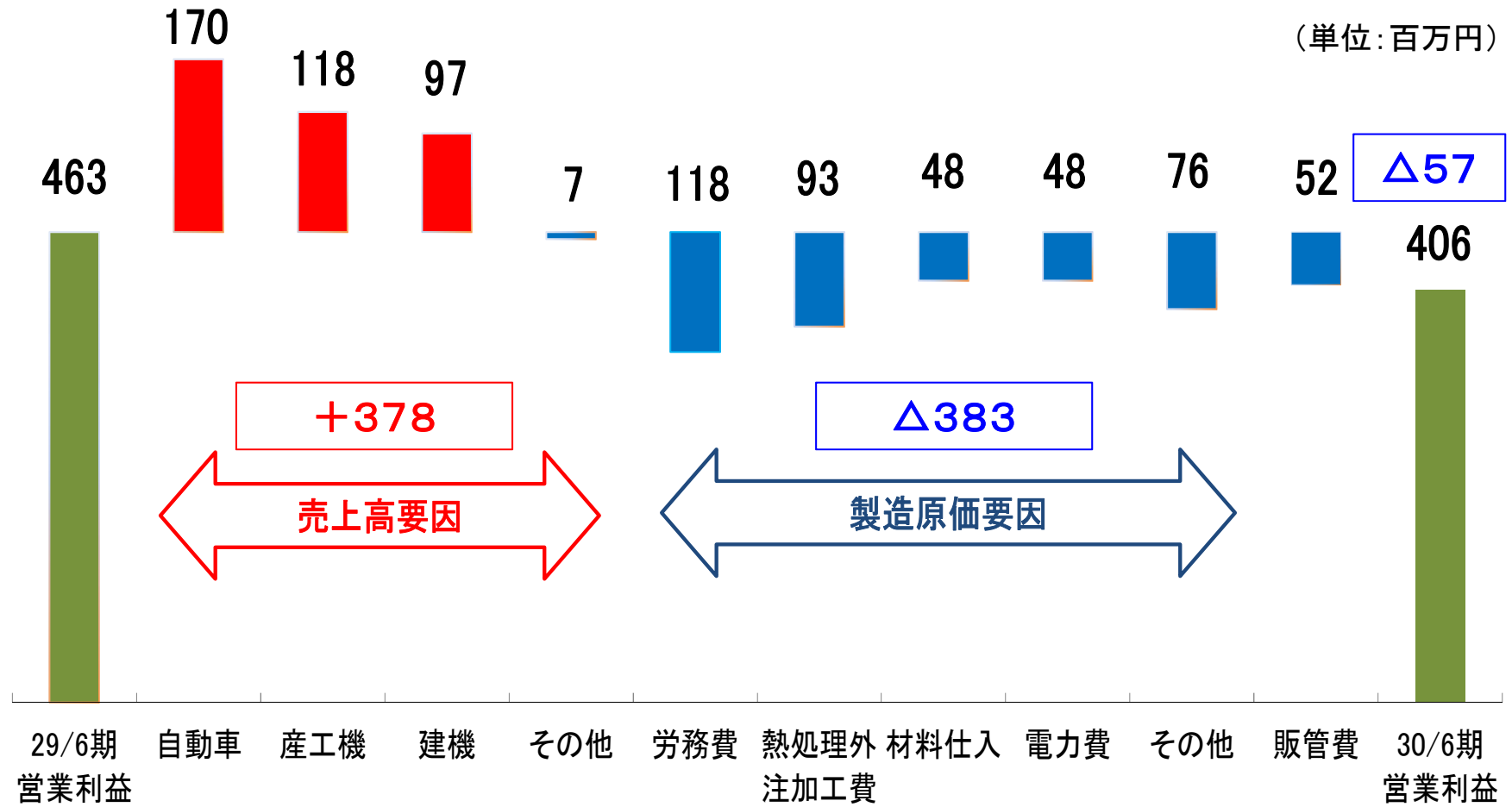
平成30年6月期連結業績前期対比

(単位:百万円)

	29/6期	30/6期	増減	増減率
売上高	5,476	6,126	650	11.9%
売上総利益	1,349	1,466	117	8.7%
営業利益又は 営業損失(△)	288	327	39	13.5%
営業利益率	5.3%	5.4%	0.1%	—
経常利益又は 経常損失(△)	294	328	33	11.5%
親会社株主に帰属する当期 純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失(△)	128	229	101	78.7%

- 売上高は前期比650百万円増加
自動車、産業工作機械、建機関連部品ともに堅調推移
- 営業利益は前期比39 百万円増加
 - ・ 売上増ながら、外注加工費増
 - ・ 電力・ガス費、労務費等の製造コスト増

平成30年6月期(67期)主要増減要因 (オーネックス単体)



その他内訳: 修繕費37、消耗工具費31

平成30年6月期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成29年 6月末	平成30年 6月末	増減		平成29年 6月末	平成30年 6月末	増減
流動資産	4,265	4,247	△ 17	負債	4,695	4,860	165
固定資産	5,726	6,095	368	純資産	5,301	5,486	184
資産合計	9,997	10,346	349	負債・純資産合計	9,997	10,346	349

(内 訳)

流動資産	4,265	4,247	△ 17	流動負債	1,853	1,967	113
現金及び預金	2,131	1,906	△ 224	支払手形及び買掛金	201	174	△ 27
受取手形及び売掛金	1,287	1,385	98	電子記録債務	198	245	46
電子記録債権	580	656	76	1年内返済予定の 長期借入金	516	573	56
固定資産	5,726	6,095	368	固定負債	2,841	2,892	51
有形固定資産	5,146	5,462	315	社債	57	32	△ 25
無形固定資産	28	18	△ 10	長期借入金	1,931	1,987	56
投資その他の資産	550	614	63	退職給付に係る負債	690	723	33

平成30年6月期セグメント別業績

(単位:百万円)

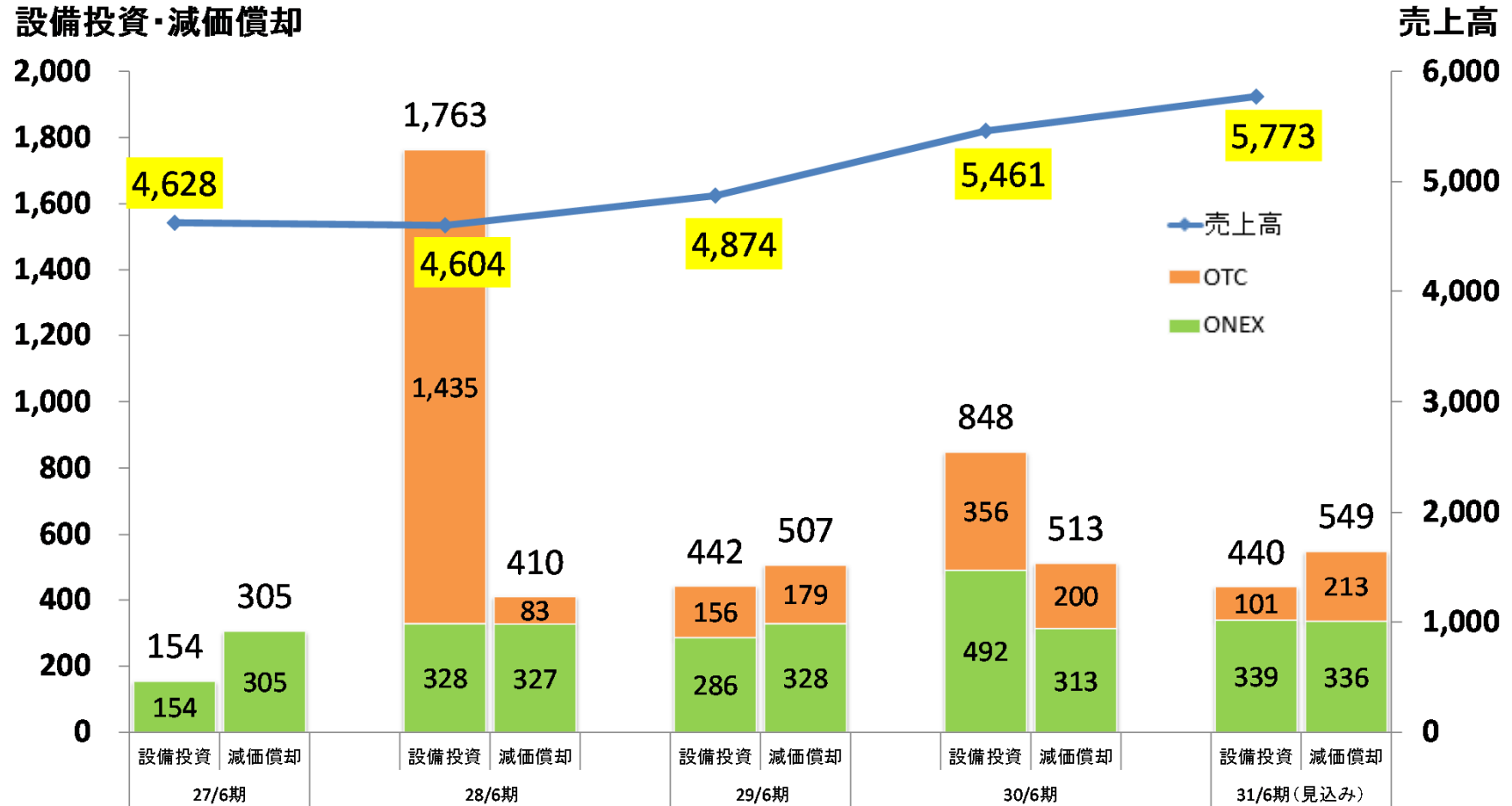
	平成30年6月期			
	売上高	前期比	営業利益	前期比
金属熱処理加工	5,461	12.0%	269	16.0%
運送	664	10.5%	45	114.3%

金属熱処理加工	: (株)オーネックス
	: (株)オーネックステックセンター
運送	: (株)オーネックスライン

売上高・設備投資・減価償却推移

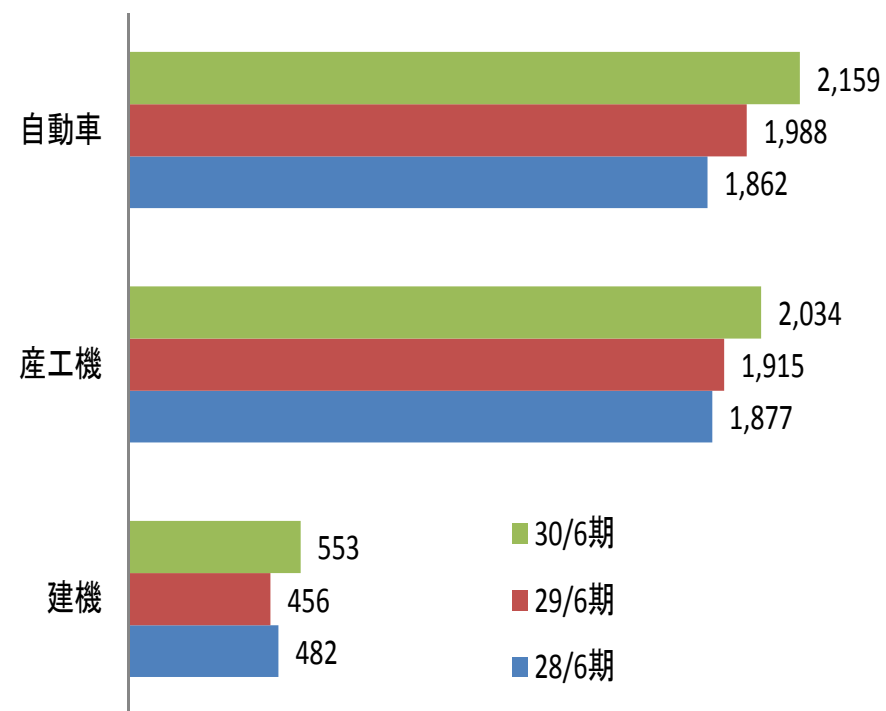
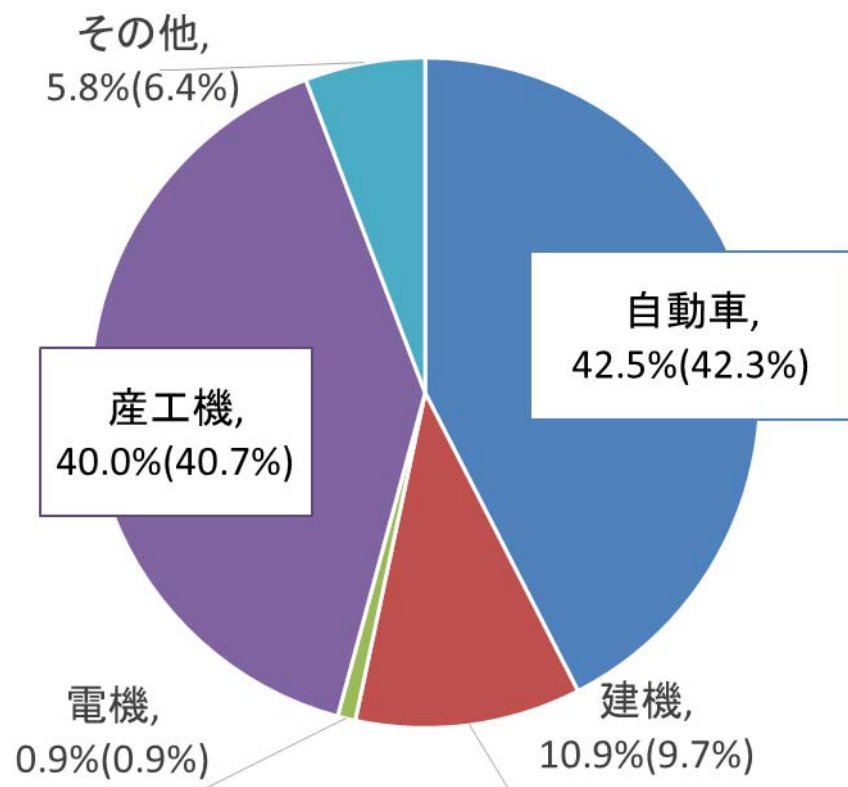
<28/6期以降はオーネックスとオーネックステックセンター>

(単位:百万円)

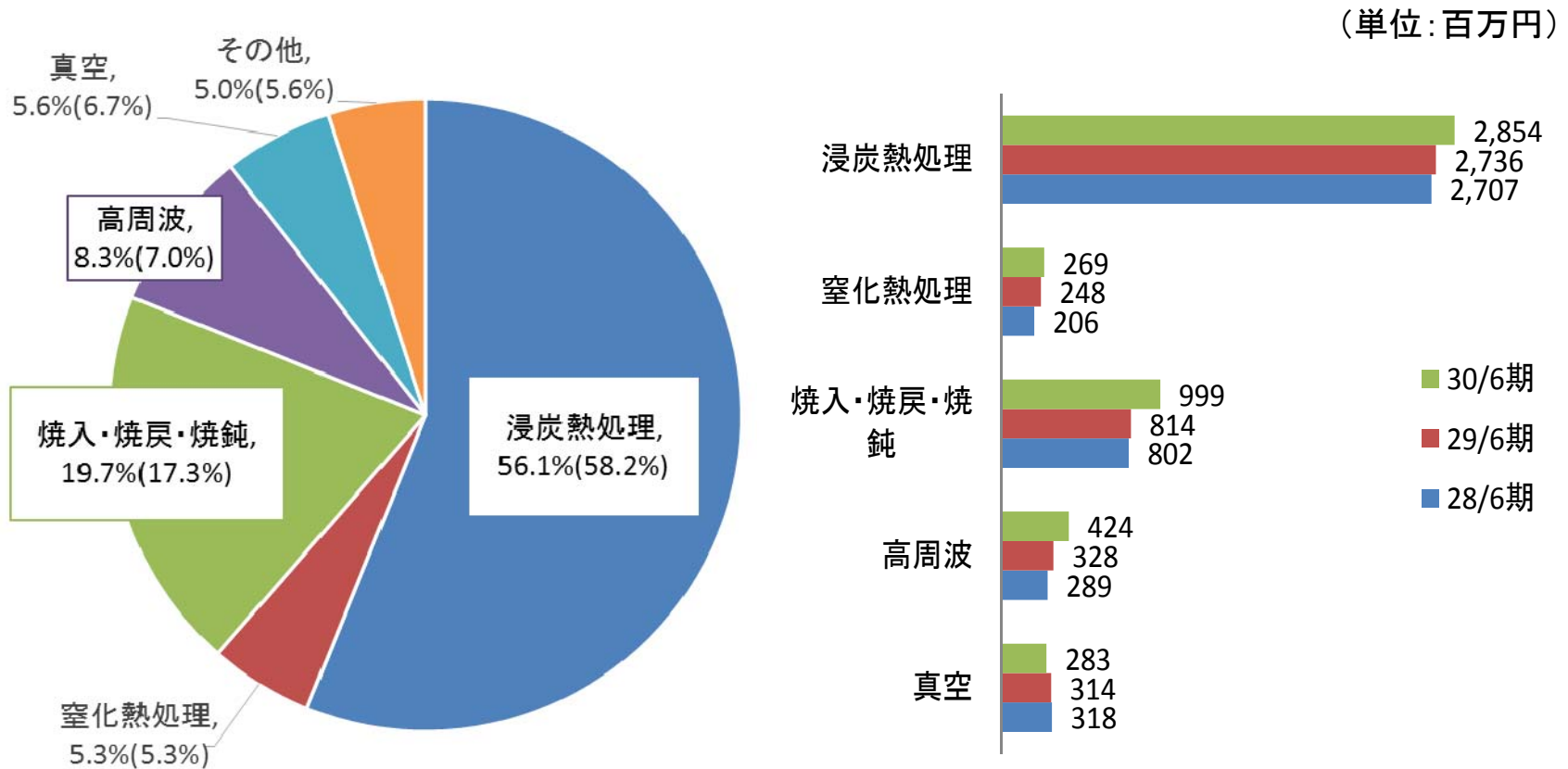


平成30年6月期業種別シェア

(単位:百万円)



平成30年6月期加工種別シェア



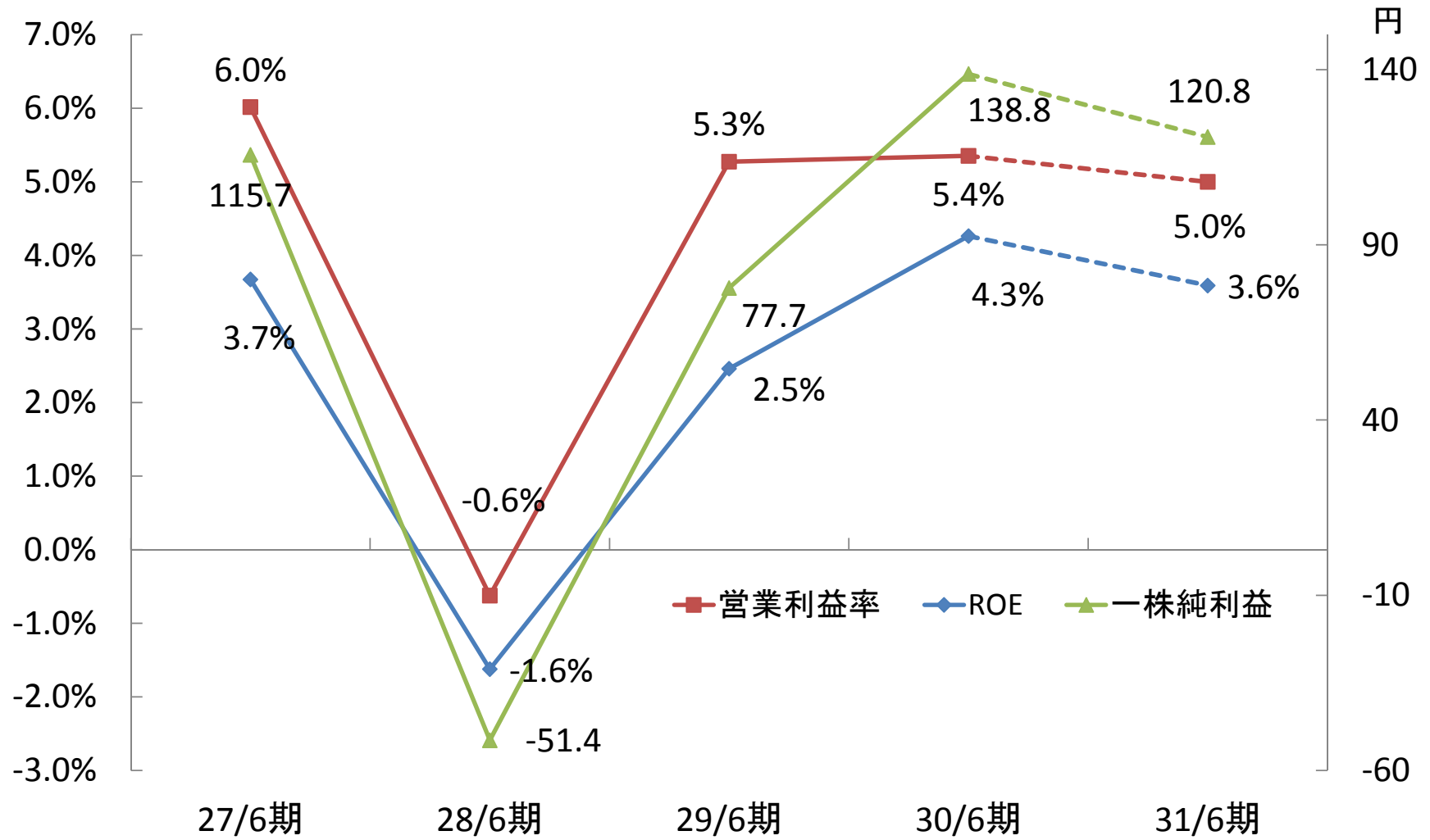
平成31年6月期の業績予想

連結業績予想

(単位:百万円、%)

	30/6期	31/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	6,126	6,800	673	11.0%
営業利益	327	340	12	3.7%
経常利益	328	360	31	9.7%
親会社株主に帰属する当期 純利益	229	200	△29	△ 13.0%

目標とする経営指標(連結)



今後の展望

熱処理事業を取り巻く環境

- 国内景気は、緩やかな回復がみられるが、景気下振れリスクは依然として大きい
- 海外では、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動、地政学リスク等、とりわけ米国トランプ政策の影響
- 国内金属熱処理業界での再編、メーカー内製熱処理の外製化の動き(新たなビジネスチャンス)
- 再生可能エネルギー(風力発電)需要拡大
- 少子高齢化による慢性的人手不足

オーネックスグループの戦略

- 近畿・東海エリアをカバーするオーネックステックセンターの拡充、及び、顧客基盤の拡大
- 本社機能移転による知名度向上効果を活用した人材獲得、並びに、労働環境改善への対応
- 既存取引慣行・業務プロセス見直しによる生産性向上
- エネルギーコスト・労務費上昇を踏まえた原価低減、不採算取引の削減
- 厚木・東松山工場の一体運営強化、「多能工化」による効率化推進



グループの企業体質を強化、持続的成長を実現

グループネットワークを最大限に活用した成長の実現

受注増に伴い工場間の互換性を高めて複数工場に対応



本社東京町田市移転(平成29年12月)の目的

旧本社とは車で30分と近く、都心へのアクセスも良好

■ オーネックスグループの知名度向上

- OTCを含めた地方拠点での営業活動
- 従業員の全国的な採用(人手不足対応)
- 社外取締役・監査役の招聘(交通の利便性)

新本社: 東京都町田市森野1-7-23 三井生命町田ビル 4F



本社外観



株式会社オーネックステックセンター
(略称: OTC)





シャープ亀山工場

亀山・関テクノヒルズ
最終分譲10区画(住友商事)

豊田自動織機テストコース
(2018年夏竣工予定)

(株)オーネックステックセンター

東名阪自動車道
亀山スマートIC

オーネックステックセンター

- 所在地 : 三重県亀山市白木町字押之尾60-28
- 土地面積 : 21,675m²(約6,570坪)
- 有効敷地 : 16,642m²(約5,034坪)
- 工場面積 : 工場・倉庫棟 約3,100m²(939坪) / 事務所棟約900m²(273坪)



熱処理需要増加への対応



業 績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	減価償却費	自己資本
平成30/6期 実績	497	△146	198	△343
平成31/6期 期待値	670	△50	213	△373

【平成30年6月期(第5期)実績】

- 産業工作機械、自動車関連部品が堅調推移
- 工場建屋や熱処理炉の償却負担が先行、営業赤字継続
- 但し、キャッシュフロー(営業利益+減価償却費)は黒字化を達成

【平成31年6月期(第6期)期待値】

- バッチ炉・ピット炉増設…増大する取引先の熱処理ニーズに柔軟・迅速に対応
- 大阪営業所開設…兵庫・大阪・京都・北陸の新規取引先開拓の強化

オーネックステックセンター自動化ライン



将来予測について

本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

**70周年(2020年)に向かってチャレンジを続ける
オーネックスを引続きよろしくお願ひ申し上げます。**

株式会社 オーネックス